

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	芝浦工業大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	シバウラコウギョウダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	国際インターンシップ1、国際インターンシップ2、国際インターンシップ3、国際インターンシップ4
	学部・研究科等名	工学部
	担当教職員名・役職	山田 純教授
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	11
	受入企業等数	8
	受入企業等名	YANMAR S.P. CO., LTD. / Oriental Motor Co., Ltd. / CO-WELL ASIA Co.,LTD / zycc singapore pte. Ltd / Robert Bosch GmbH / Sumitomo Mitsui Construction Co., Ltd. / Mitsubishi Electric Asia (Thailand) Co., Ltd.
インターンシップの分類	3.海外インターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	大学と企業が連携して企業ごとに実習プログラムを作成し、学生と面談を行った上で専門分野とプログラム内容がマッチする企業を実習先とする。実習では現地スタッフとの活発な交流を念頭に置き、製造、開発、企業からの課題解決等業務を行う
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次～4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	各科目2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	国際的な技術者として活躍するために求められる、情報や意見を他者に伝える能力、他者の発信した情報や意見を理解する能力を海外企業での体験を通じて身に付けることを目的とする。事前のPROGテスト結果またはCEFRの確認と自己分析により、実習での改善ポイントを整理し計画との対応を取る。実習実施後、プレゼン及び事後能力評価としてCEFR測定またはPROGテスト受験を行い、自己改善計画の策定を行う。
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している 5.その他
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	実習先決定前に日本語、英語を用いて面談を行い、確認事項3-2-1の各項目について十分に理解を深めているか確認を行っている。

要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	インターンシップ中に学生から報告書を提出させ、適宜フィードバックを行う。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	キャリア教育の一環で全員にインターンシップの意義を説明し、マナー教育や守秘義務の遵守、実施目的等を理解させている。また、異文化交流の際に注意すべきことの指導や、活発なコミュニケーションを取るための出来るよう語学学修の指導を行う。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	報告書の提出内容、企業人事からの評価をフィードバックしている。また、科目履修者全員を集めて実習発表会を行い、内容に対し教員、他企業プログラムの参加者からフィードバックを行うことで、今後の研究活動、学生生活に経験をどの様に活かしていけば良いか再考する機会を設けている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	企業担当者との面談を報告書を提出させている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実施前後にCEFRまたはPROGによる能力特性評価を行い、実習前後の変容を客観的に把握させることで学生の自己理解を促す。また、学修への取り組みや身についた能力等について報告書を作成し、実習前の目標を振り返ることでその成果を自己分析する。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間7日間以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実習期間7日間以上を認定のノルマとしている。学生、企業都合によって7日以上であれば期間は柔軟に定めている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している 6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	プログラムの目的や意義を受入企業に説明の上、大学と企業が連携して企業ごとに実習プログラムを作成している。実習後に発表会を実施し実習成果を企業へフィードバックするとともに、学生が作成した報告書、企業からの評価表を大学と企業が共有することで企業と協働してPDCAを実施、継続的にプログラム内容を改善している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://syllabus.sic.shibaura-it.ac.jp/syllabus/2018/MatrixA00165.html.ja
問い合わせ	大学等名	芝浦工業大学
	担当部署名	豊洲学生課
	担当者役職名	

 口 わ せ 先	担当者氏名	川野 亜希
	電話番号	03-5859-7370
	メールアドレス	tgakusei@ow.shibaura-it.ac.jp